

消化性潰瘍 と

診断された
あなたへ

[監修]

川西市立総合医療センター

総長 三輪 洋人 先生



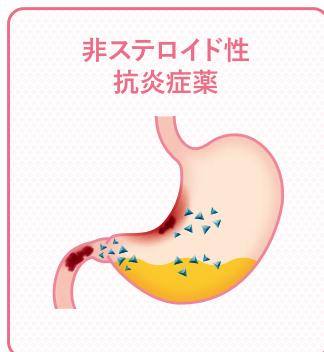
消化性潰瘍とは

胃または十二指腸の粘膜が傷ついて起こる疾患で、お腹の上部やみぞおちの痛み、食欲の低下、潰瘍部分の出血といった症状がみられます。



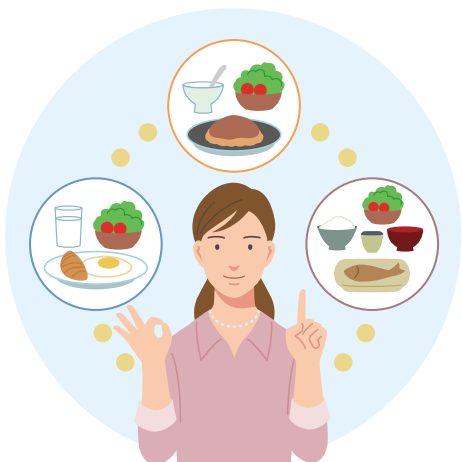
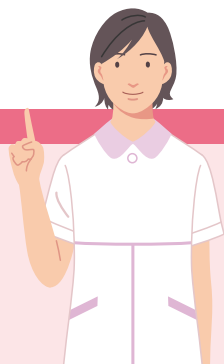
消化性潰瘍の原因

主な原因は**ピロリ菌**（ヘリコバクター・ピロリ）の感染ですが、**非ステロイド性抗炎症薬**と呼ばれる痛み止めの服用などによる**薬剤性潰瘍**も増加しています。また、**ストレスや睡眠不足、喫煙、飲酒**などの生活習慣も原因のひとつとされ、お薬での治療が中心となります。



日常生活で心がけること

三食きちんと摂って規則正しい生活をするよう心がけ、できるだけストレスを溜め込まない生活を送れるようにしましょう。



食事は三食摂り、
規則正しい生活を



ストレスを溜め込まない

処方されたお薬を医師または薬剤師の指示を
しっかり守って飲み、定期的に内視鏡検査を
受けることも大切です。



医療機関・薬局名